
グローバルなイノベーション創出へのチャレンジ

武田薬品工業

取締役兼

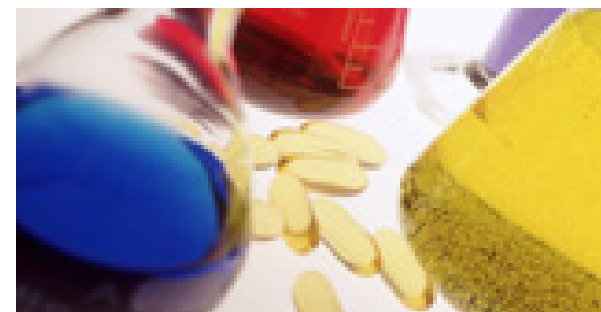
コーポレート・コミュニケーション部長

吉田豊次

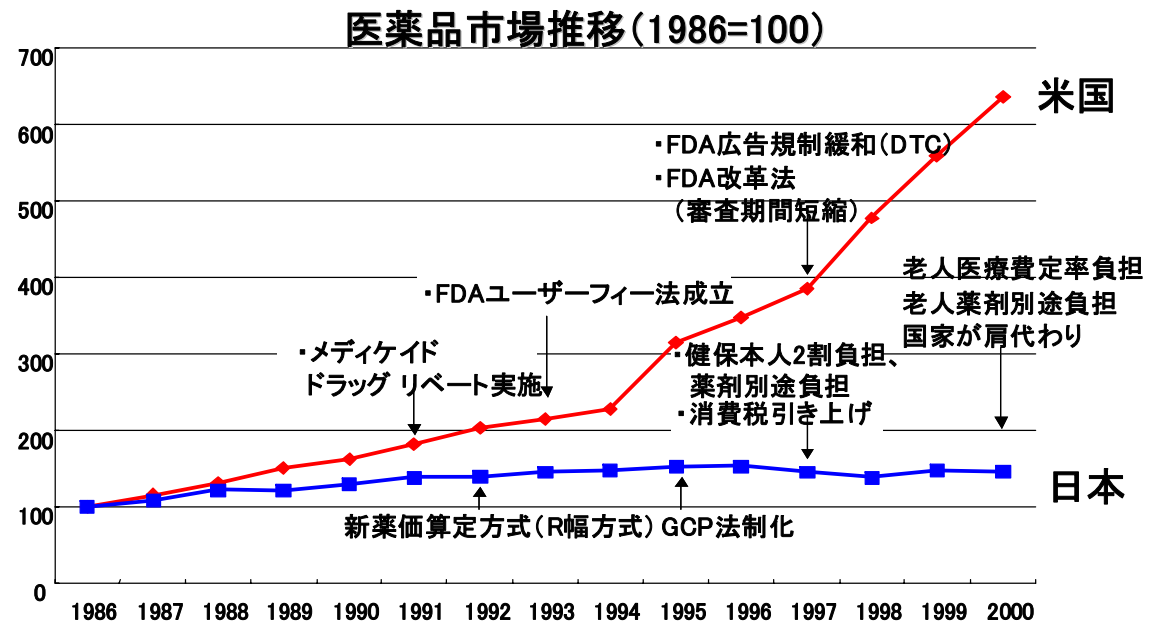
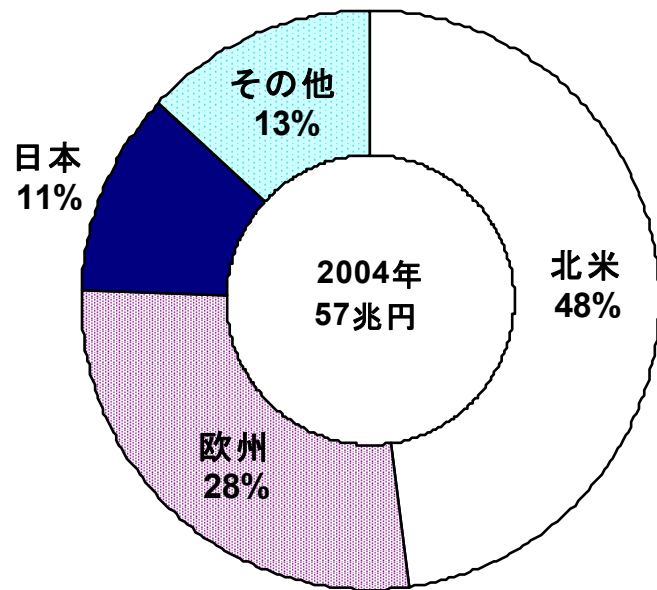


Agenda

1. 概況（製薬産業、及びタケダについて）
2. グローバル経営の現状
3. イノベーション創出への取り組み
4. 今後の取り組み

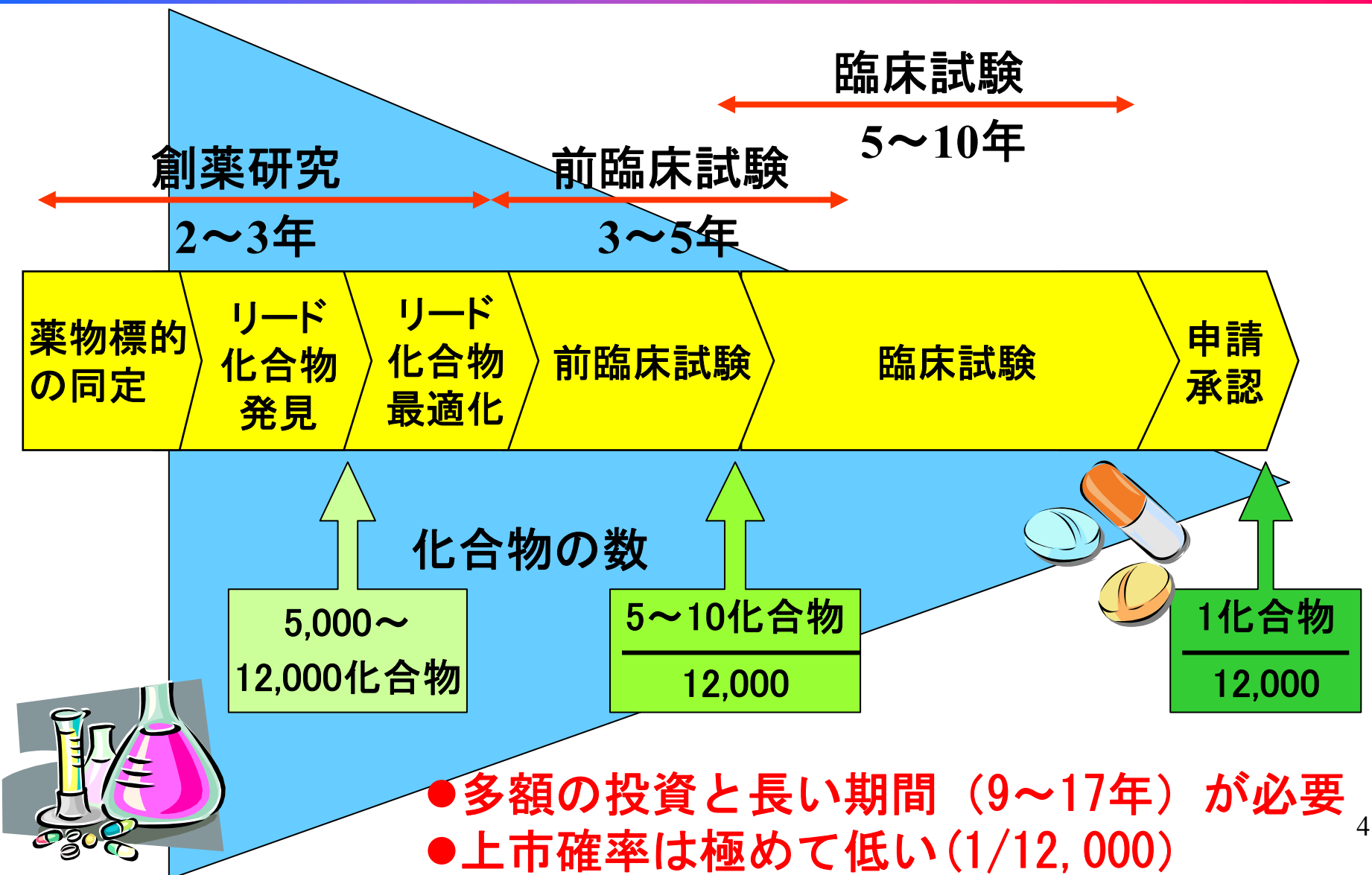


世界の医療用医薬品市場(2004年)

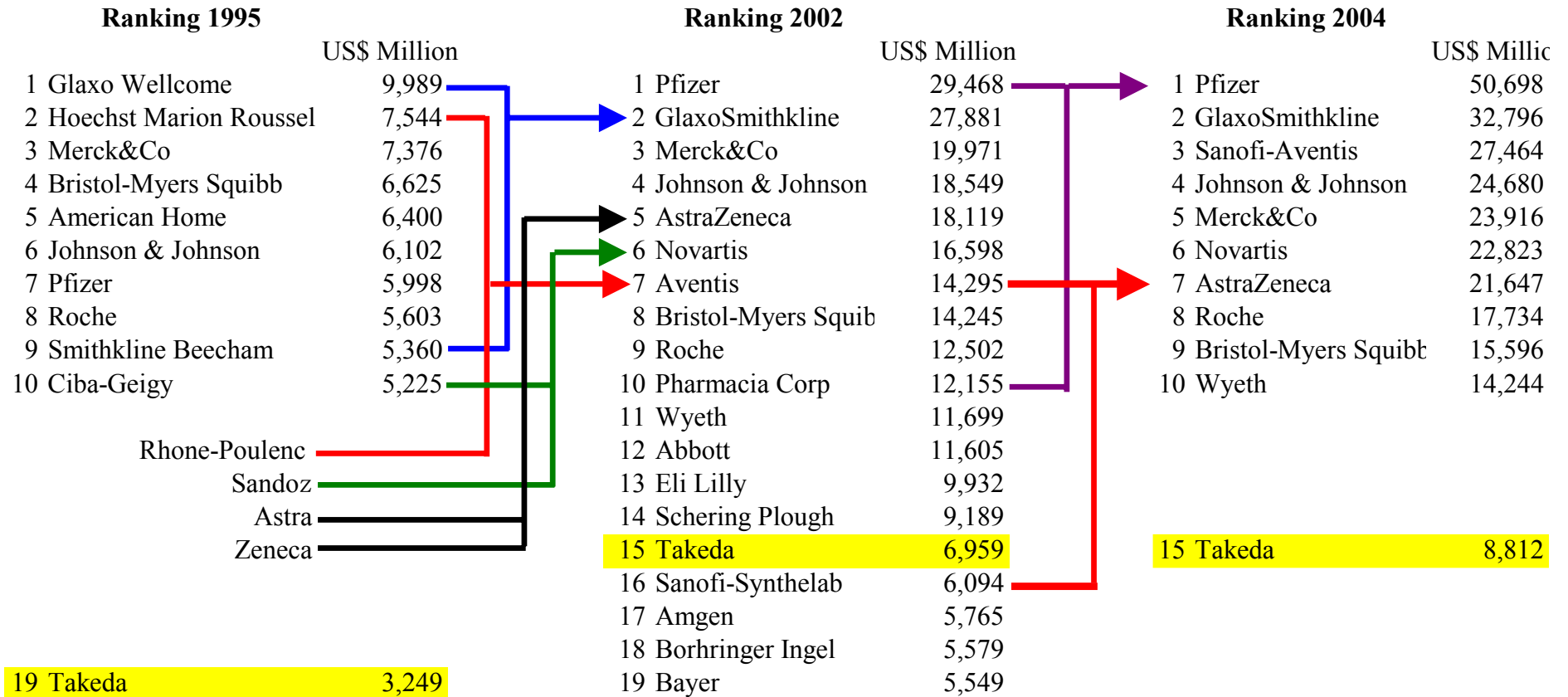


出所: IMS World Review [Global pharma audited sales] (110円/US\$で換算)

新薬の研究開発の流れ



世界大手製薬企業売上ランキング



IMS World Review

経営哲学

「経営の基本精神」



タケダイズム:

「**誠実**=**公正**・**正直**・**不屈**=な
企業活動によって“くすりづくり”の
王道を歩み社会に貢献すること」

経営理念:

『優れた医薬品の創出を通じて人々の
健康と医療の未来に貢献する』



経済性、**社会性**両面で
の企業価値向上



CSR活動の推進

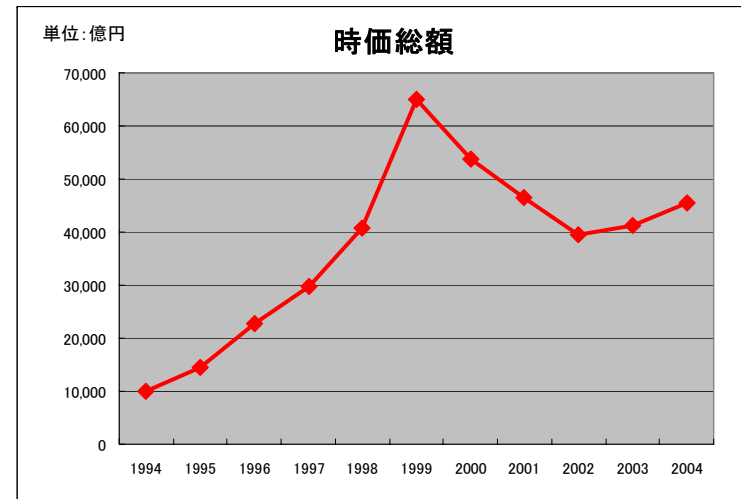
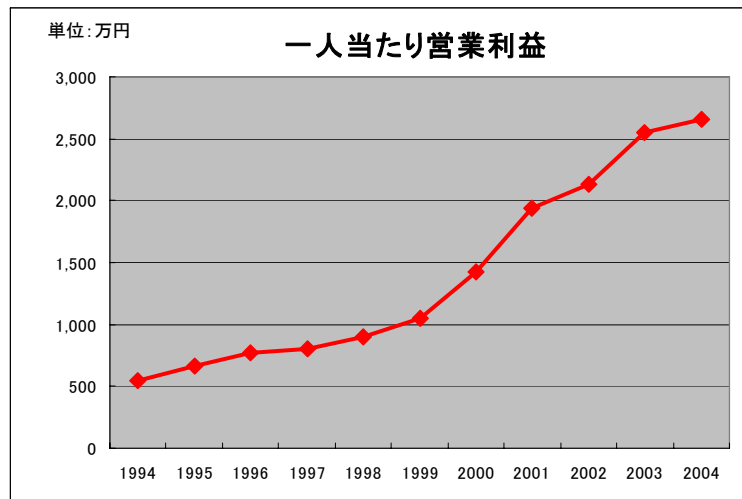
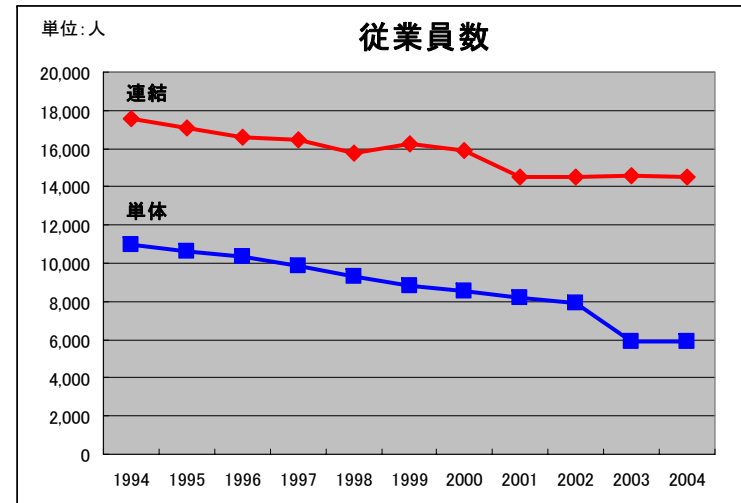
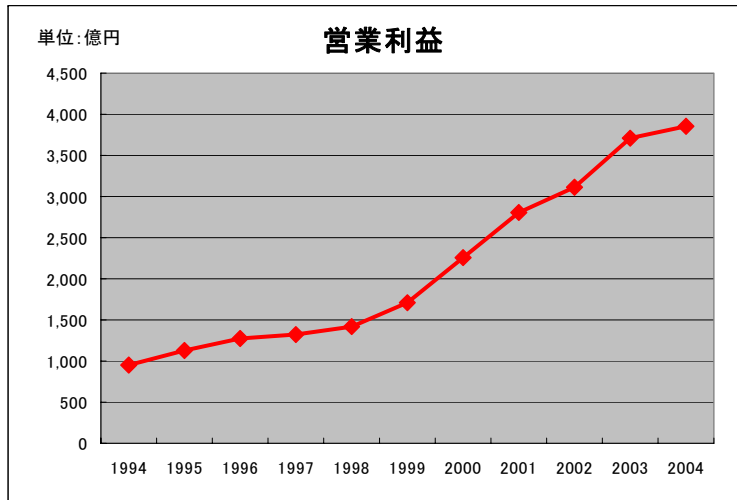
事業構造改革

国内市場中心の多角化→研究開発型国際的製薬企業

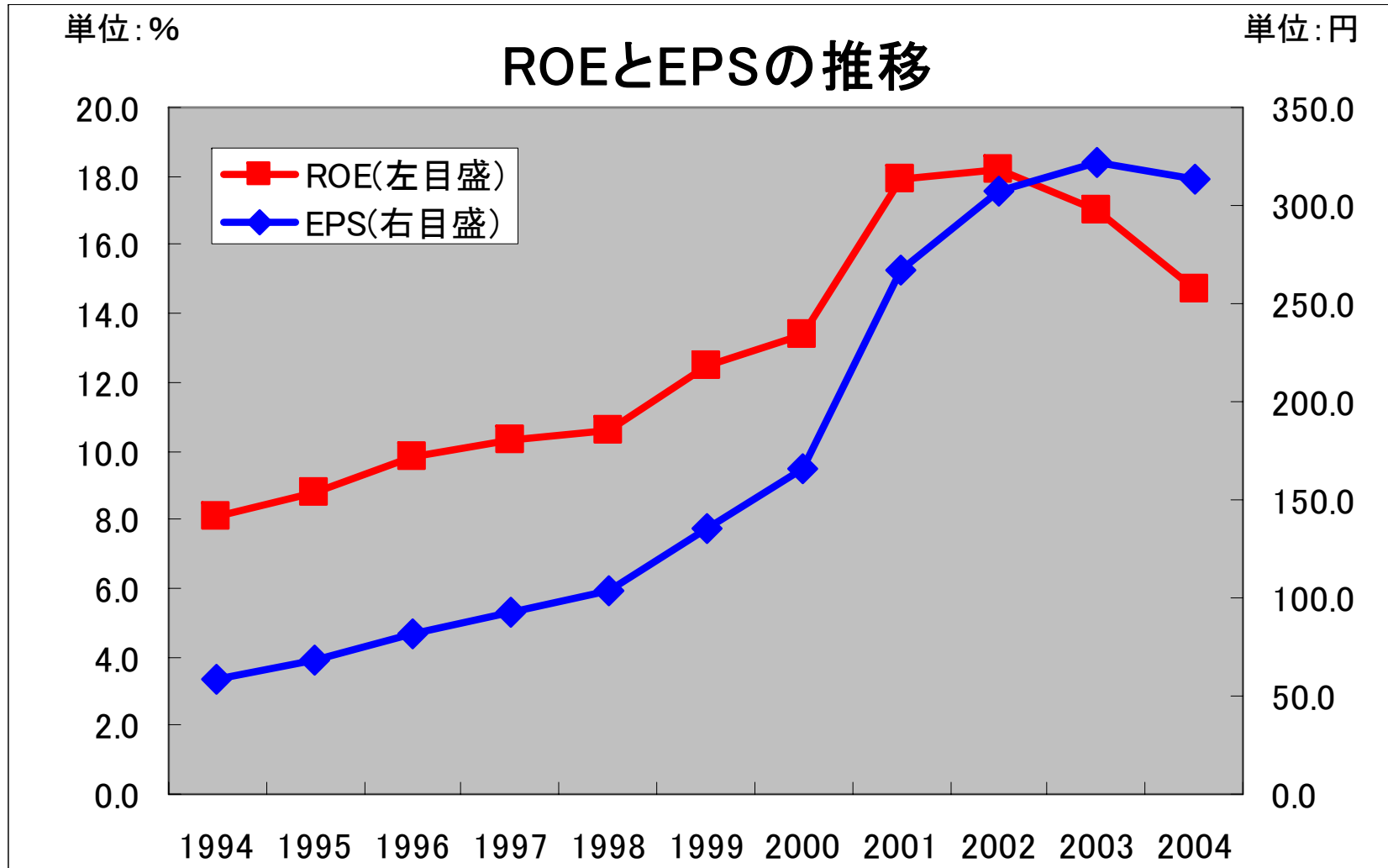
1. 事業の高付加価値化
2. 経営資源の重点的配分(医薬外事業の自立)
3. 人員の適正化

→そのために、人事・組織をはじめとする仕組み・制度改革と意識改革が必要

主要経営指標(連結)推移



主要経営指標(連結)推移2



国際戦略製品

Leuprorelin (Lupron) 1781億円
LH-RH antagonist 前立腺がん、子宮内膜症治療薬

Lansoprazole (Prevacid) 3735億円
Proton Pump Inhibitor 消化性潰瘍治療薬

Candesartan (Blopress) 1527億円
Angiotensin II receptor antagonist 高血圧治療薬

Innovation

Pioglitazone (Actos) 1932億円
Insulin resistance-improving drug 糖尿病治療薬

2005 Ramelteon (ROZEREM)

MT₁/MT₂receptor agonist 不眠症治療薬

注)数字は2004年全世界売上高

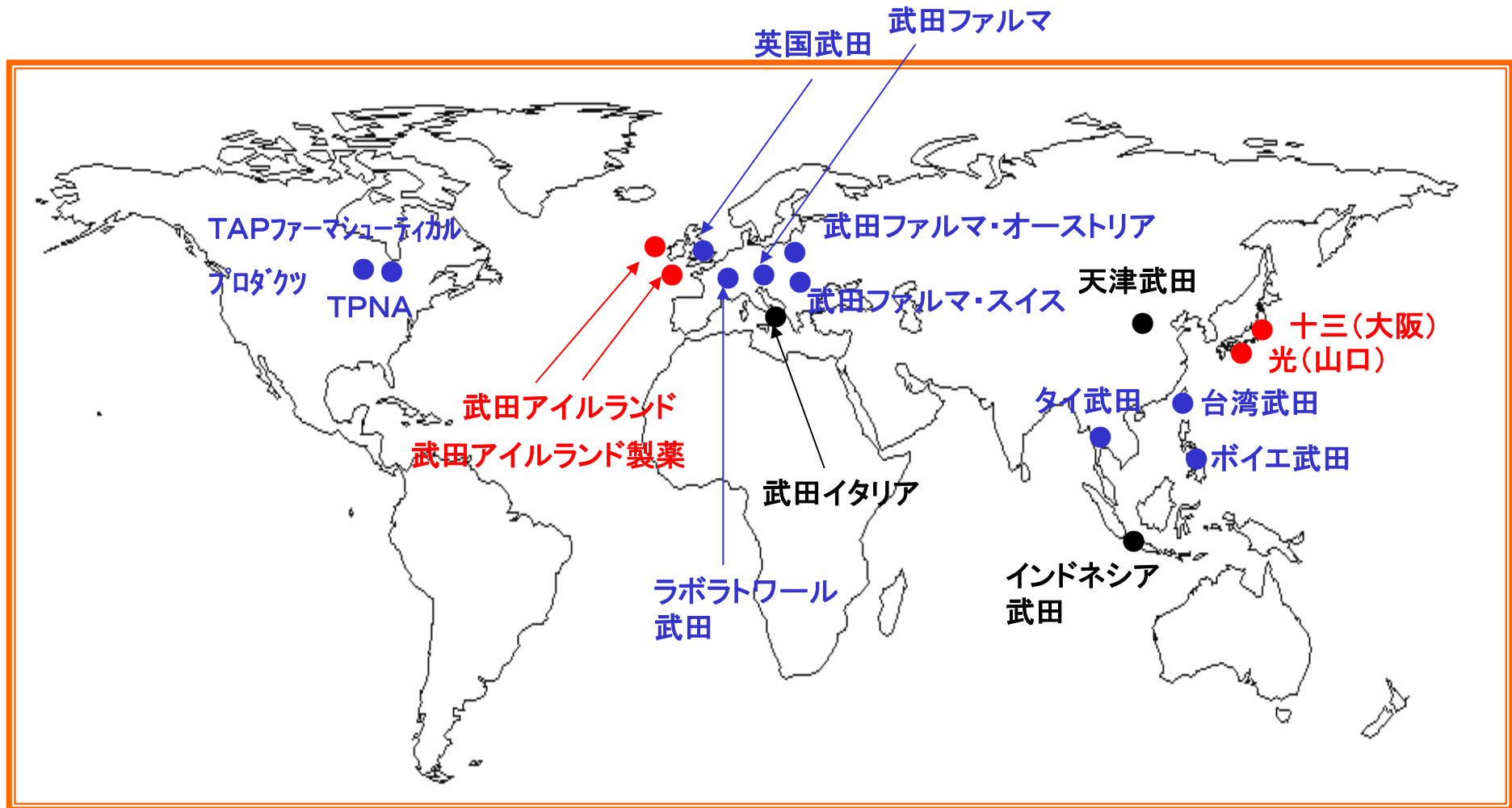
Agenda

1. 概況（医薬品産業、及びタケダについて）
2. **グローバル経営の現状**
3. イノベーション創出への取り組み
4. 今後の取り組み



11

生産・販売拠点

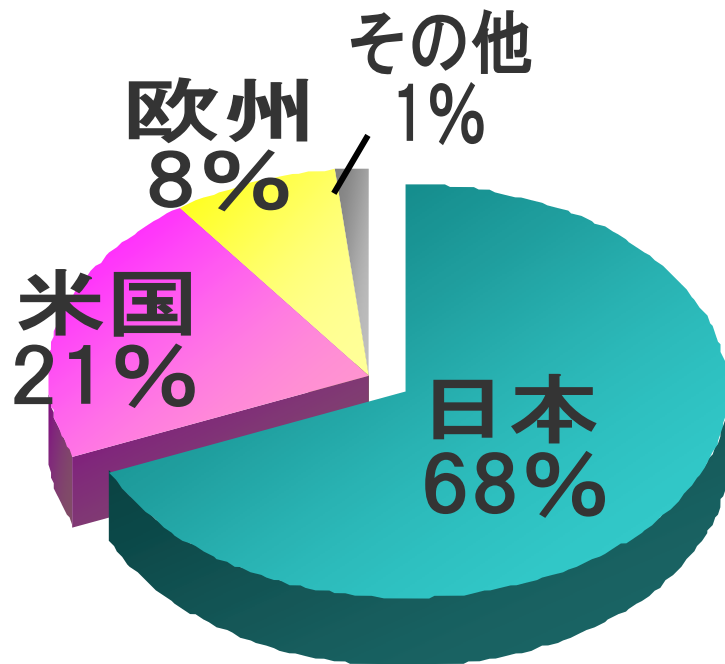


日本の販売拠点は省略

黒字は、生産、販売両機能を保有

グローバル売上高推移

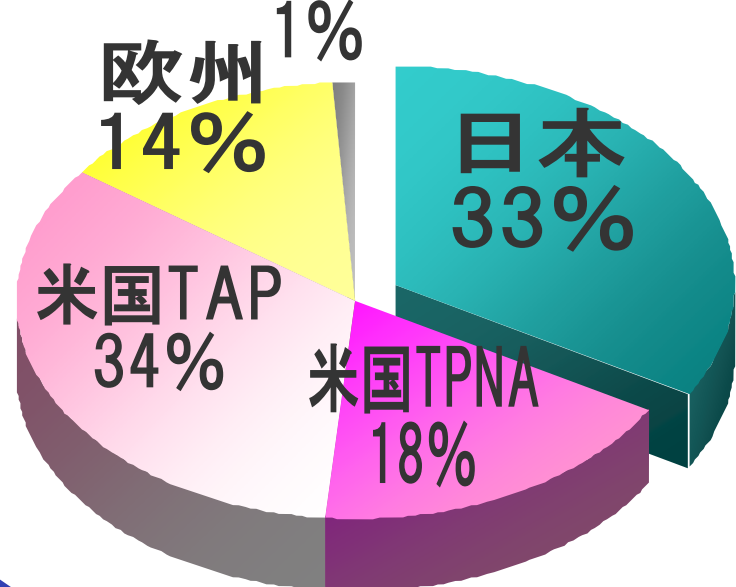
1994



27.5億 \$

2004

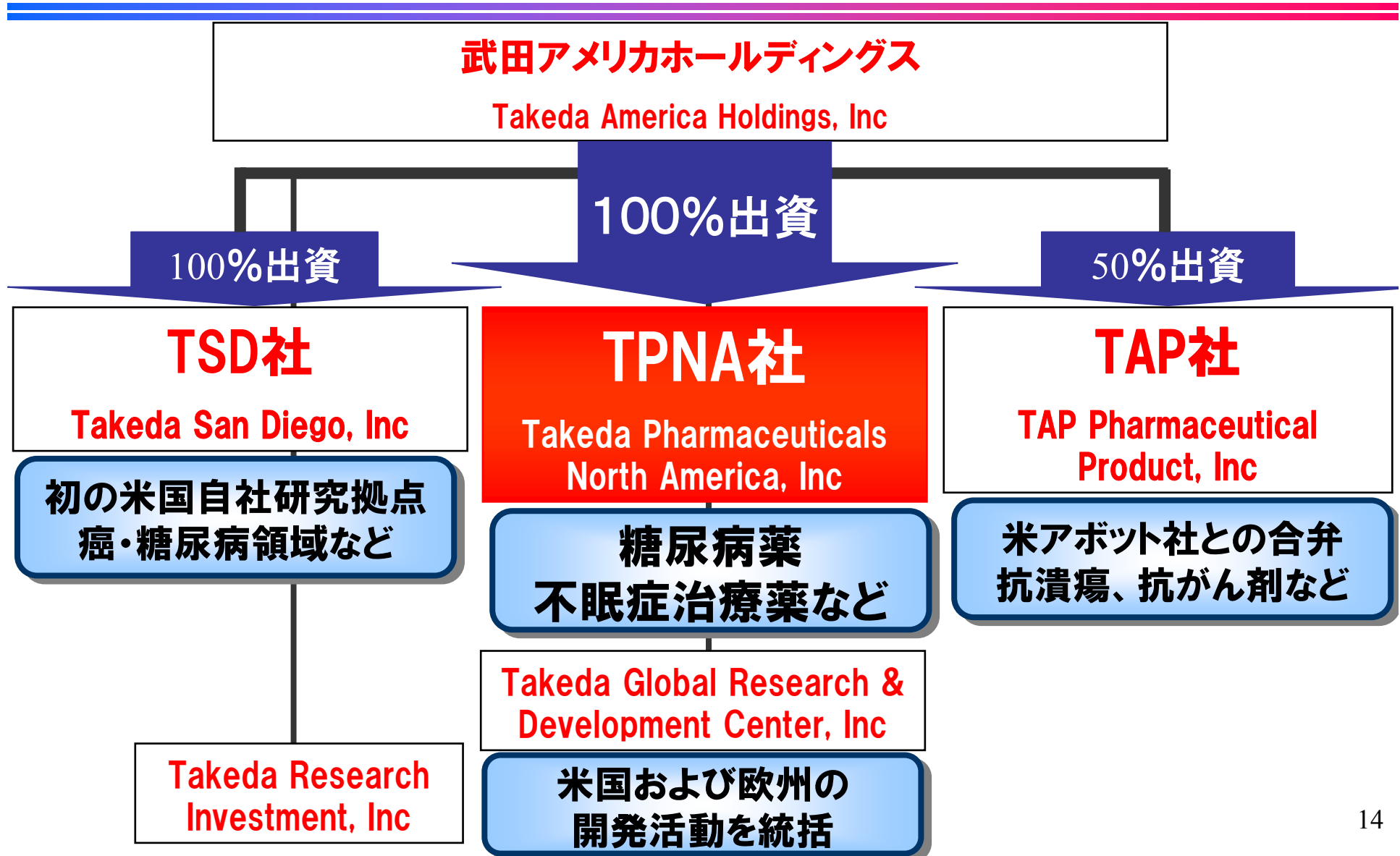
海外売上高比率
67%



101億 \$

自社医療用医薬品売上高(持分法適用会社含む) 13

米国における事業展開



Agenda

1. 概況（医薬品産業、及びタケダについて）
2. グローバル経営の現状
3. **イノベーション創出への取り組み**
4. 今後の取り組み



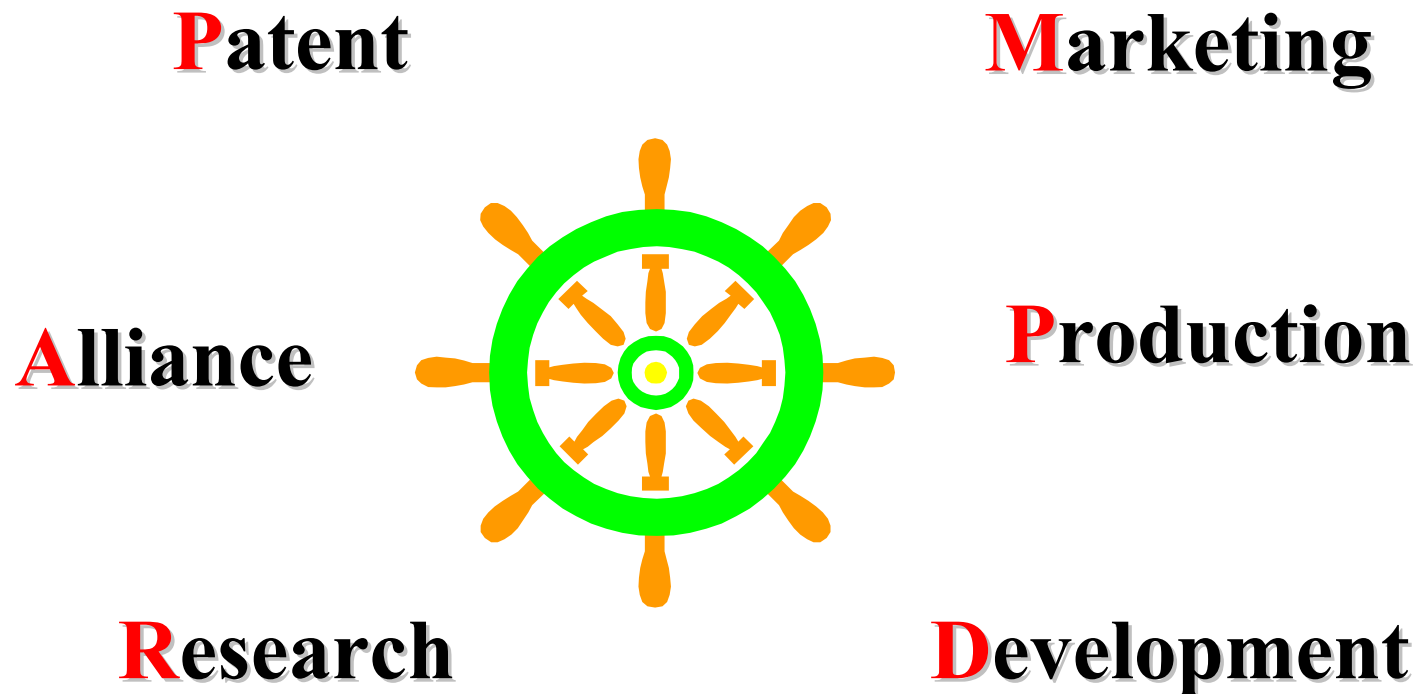
タケダの特徴

- ① MPDRAP体制
- ② グローバルな研究開発体制
- ③ マルチINDエンジンモデル



①MPDRAP体制

MPDRAP関係各部門に横串を通すことで、化合物の研究開発について、迅速かつ的確な意思決定を可能にする仕組み



①MPDRAP体制

MPDRAP領域Ⅰ：生活習慣病領域

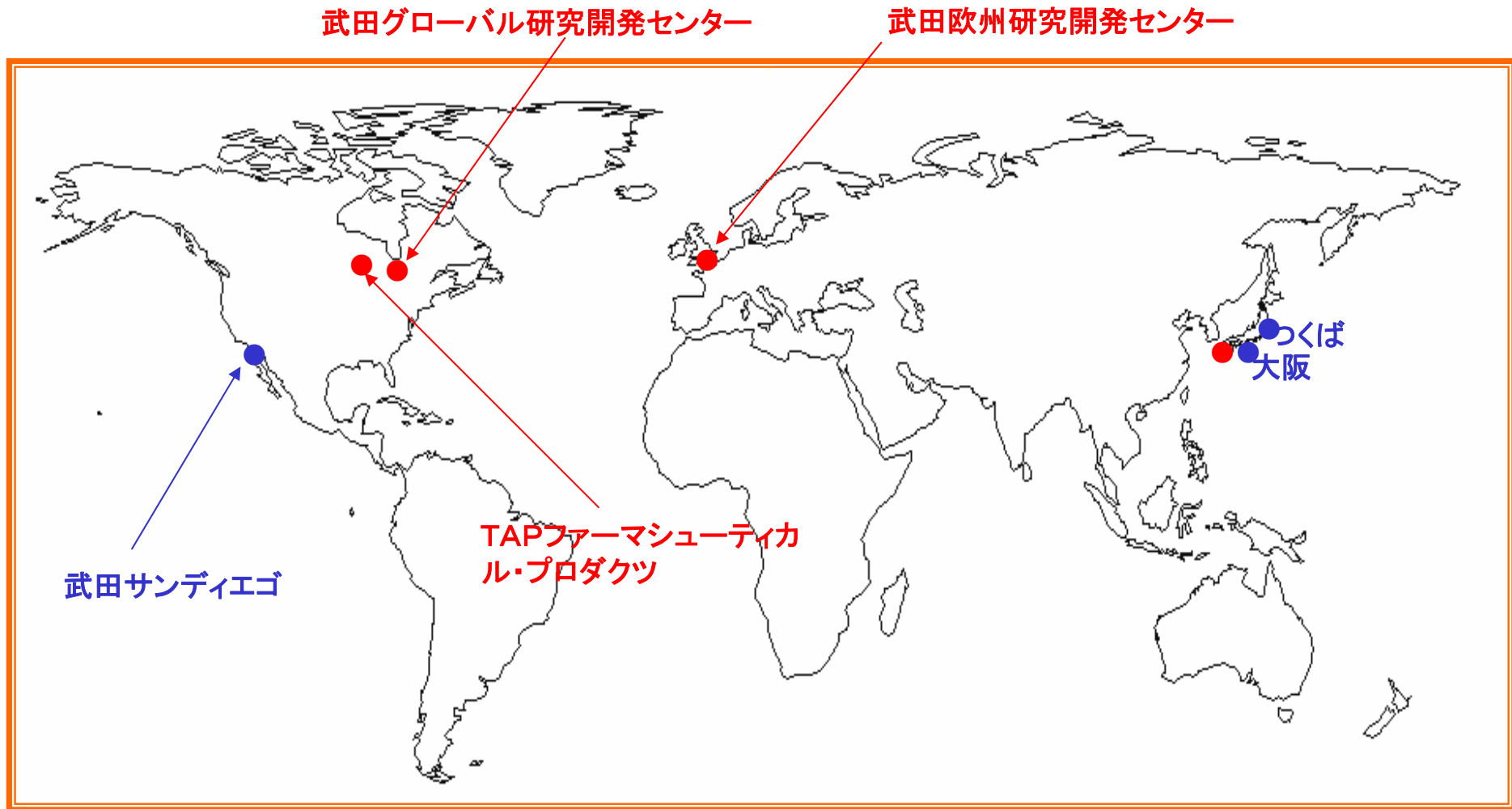
MPDRAP領域Ⅱ：癌・泌尿器疾患領域

MPDRAP領域Ⅲ：中枢神経疾患領域（骨・関節疾患含む）

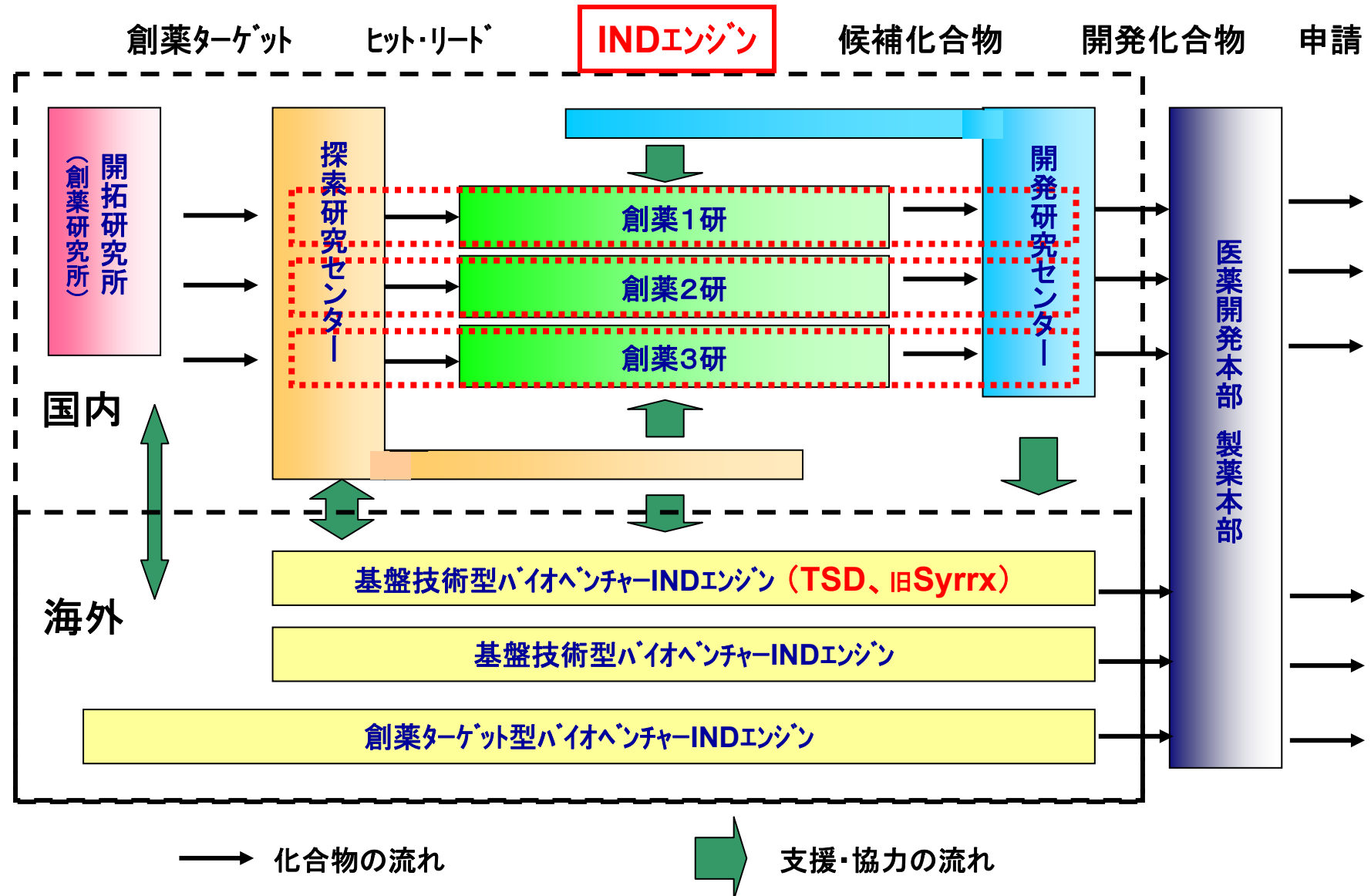
MPDRAP領域Ⅳ：消化器疾患LCM領域



②グローバルな研究・開発体制



③マルチIND エンジンモデル



武田サンディエゴ(旧 Syrrx)



基盤技術

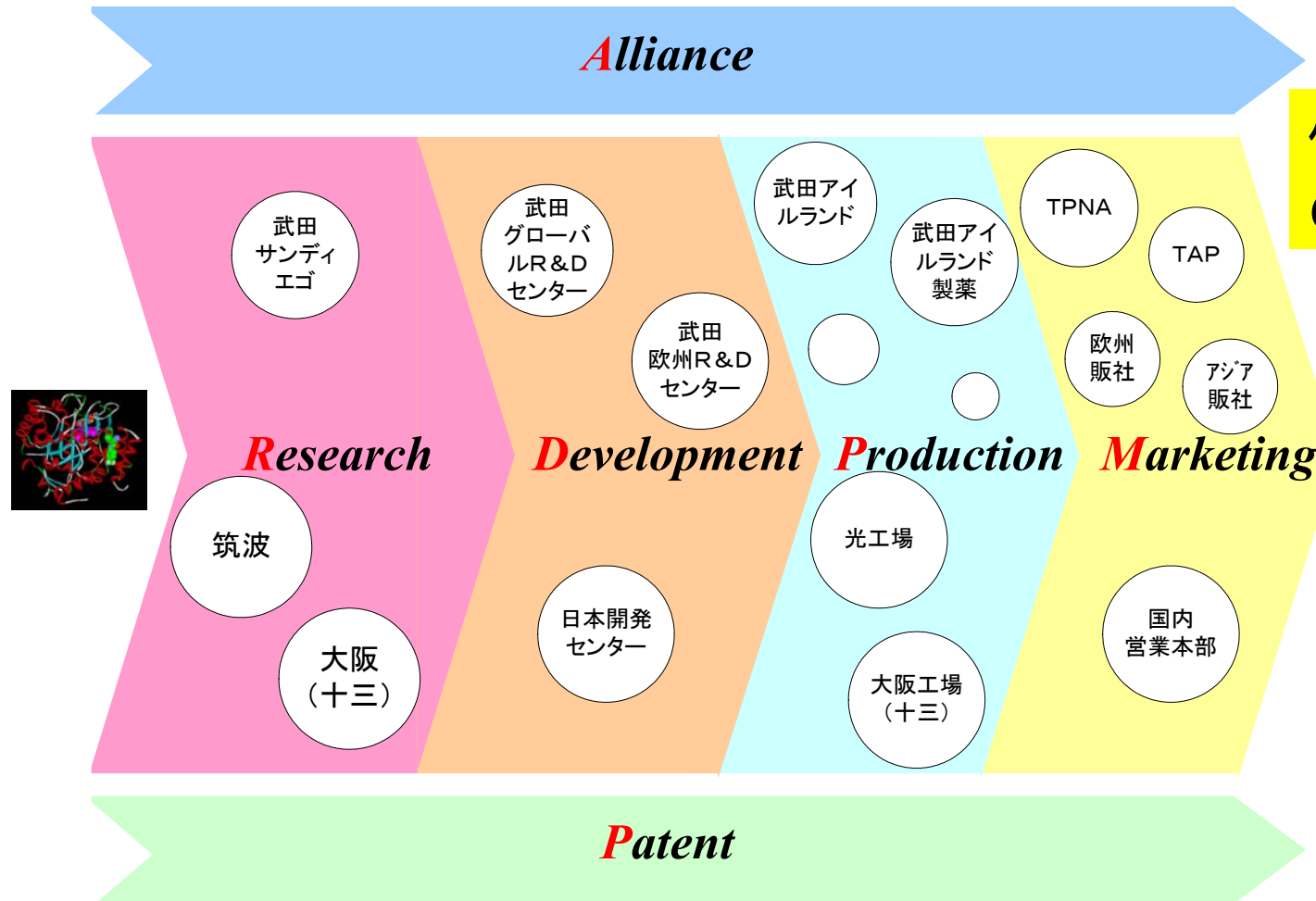
高速タンパク結晶化およびX線結晶構造解析技術

IND エンジン

基盤技術の強みを活かした IND 化合物創出

- 買 収 : 2005年2月買収
- 意 義 : 武田として初めての海外研究拠点
- 設 立 : 1999年
- 所 在 : San Diego (米国、California)
- 重点領域 : 代謝性疾患 (糖尿病他) および癌
- 従業員数 : 92名うち75名が研究者 (PhD: 38名)

グローバルなイノベーション・バリュー・チェーン



優れた医薬品の創出・普及



Agenda

1. 概況（製薬産業、及びタケダについて）
2. グローバル経営の現状
3. イノベーション創出への取り組み
4. 今後の取り組み



次期中期計画における主な課題

～日本発の「世界的製薬企業」への挑戦～

- ◇ 持続的に市場の伸びを上回る成長を実現するための
「パイプラインの強化」(=イノベーションの創出、導入)
- ◇ グローバルな事業運営体制の実現
- ◇ グローバルな事業運営を担う
「人材の獲得及び育成」
- ◇ “タケダイズム”の浸透とCSR経営の推進